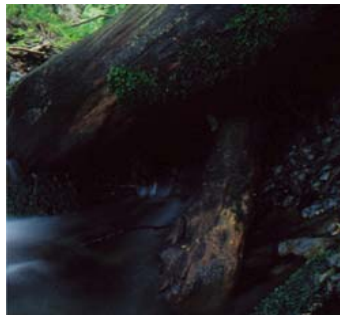


農林中央金庫

The Norinchukin Bank

2011年度第3四半期 決算概要説明資料

2012年2月24日



～高水準の自己資本比率を維持した上で、目標を上回る利益水準で推移～

■ 経常利益1,385億円, 純利益1,074億円

- 欧州債務問題を背景とした金融市場の変調の影響を受けつつも、通期の目標経常利益水準(500～1,000億円)を上回る水準で推移

■ 自己資本比率25.75%, Tier I 比率19.83%(速報値)

- 純利益の積上げと有価証券評価差額の改善等により、自己資本比率, Tier I 比率は各々3月末比2.99%, 3.03%上昇
- 有価証券評価差額は38億円(評価損から評価益へ)

損益計算書サマリー(単体)

■ 経常利益は1,385億円と前年同期比減益となるも、通期での目標経常利益(500~1,000億円)を上回る水準で推移

(単位: 億円)	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減額	増減率
1 経常収益	8,679	7,958	-721	-8.3%
2 うち資金運用収益	5,320	5,252	-68	-1.3%
3 うちその他業務収益	1,277	667	-610	-47.8%
4 うちその他経常収益(注1)	1,968	1,938	-29	-1.5%
5 経常費用	6,832	6,573	-259	-3.8%
6 うち資金調達費用	4,230	4,329	99	2.4%
7 うちその他業務費用	1,519	794	-725	-47.7%
8 うち事業管理費	757	846	88	11.7%
9 うちその他経常費用	245	520	275	112.5%
10 経常利益	1,847	1,385	-461	-25.0%
11 特別利益	363	4	-358	-98.6%
12 特別損失	75	7	-68	-90.5%
13 税引前四半期純利益	2,134	1,383	-751	-35.2%
14 四半期純利益	1,871	1,074	-796	-42.6%

■ 経常収益は、資金運用収益・その他業務収益の減少などから減収

➢ 有価証券売却益245億円(前年同期比▲552億円)

■ 経常費用は、資金調達費用が増加するも、その他業務費用の低減から、減少

➢ 有価証券償却411億円(前年同期比+16億円)

➢ 有価証券売却損278億円(前年同期比▲609億円)

➢ 与信関係費用は198億円の収益計上(前年同期は325億円の収益計上)

■ 経常利益、四半期純利益は、経常収益の減収により減益となるも、通期の目標経常利益(500~1,000億円)を上回る水準で推移

注1:2011年度より、「貸倒引当金戻入益」および「償却債権取立益」の計上区分を「特別利益」から「その他経常収益」に変更しております。

注:2011年12月末現在、単体ベース

出所:農林中央金庫

貸借対照表サマリー(単体)

■ 総資産, 純資産とも増加基調

(単位: 億円)	2011年 3月末	2011年 12月末	増減額	増減率
(資産の部)				
1 貸出金	140,023	146,628	6,604	4.7%
2 有価証券	430,700	429,878	-822	-0.2%
3 金銭の信託	77,510	70,002	-7,508	-9.7%
4 現金預け金	18,280	41,311	23,031	126.0%
5 その他	29,004	20,364	-8,639	-29.8%
6 資産の部合計	695,519	708,185	12,665	1.8%
(負債の部)				
7 預金	409,570	429,622	20,051	4.9%
8 譲渡性預金	7,681	12,425	4,744	61.8%
9 農林債	54,216	51,806	-2,409	-4.4%
10 借入金	20,756	17,230	-3,525	-17.0%
11 その他	160,791	151,988	-8,803	-5.5%
12 負債の部合計	653,015	663,072	10,057	1.5%
(純資産の部)				
13 資本金	34,259	34,259	-	-
14 資本剰余金	250	250	-	-
15 利益剰余金	9,681	10,551	870	9.0%
16 その他	-1,686	51	1,737	-
17 純資産の部合計	42,504	45,112	2,608	6.1%

■ 資産の部は, 政府向けの貸出や現金預け金の増加により3月末比+1兆2,665億円

■ 負債の部は, 会員からの預金の増加により3月末比+1兆57億円

■ 純資産は, 純利益の積上げ, その他有価証券評価差額金の改善により, 3月末比+2,608億円

有価証券等の評価差額(単体)

■ 有価証券等の評価差額は9月末比1,833億円改善し、38億円(評価損から評価益へ)

(評価差額 単位: 億円)	2011年 3月末	2011年 9月末	2011年 12月末	増減額 (9月末比)
【その他有価証券】				
1 株式	423	540	411	-128
2 債券	13	413	529	115
3 国債	29	423	535	112
4 地方債	0	0	0	0
5 社債	-16	-10	-7	2
6 その他	-4,488	-5,114	-3,361	1,753
7 外国債券	-1,135	690	1,113	423
8 外国株式	-33	-13	-7	6
9 その他	-3,318	-5,791	-4,467	1,323
10 うち投資信託	-3,290	-5,799	-4,472	1,326
11 小計 ①	-4,050	-4,160	-2,420	1,739
【その他の金銭の信託】				
12 その他の金銭の信託 ②	1,199	2,454	2,410	-43
【保有目的を変更した有価証券】				
13 その他有価証券から満期保有目的の債券 へ変更したもの ③	-578	-88	49	137
14 合計(①+②+③)	-3,429	-1,795	38	1,833

■ 長期金利が低水準で推移する中、外国株式が回復。外国債券、投資信託の評価差額が増加・改善し、9月末比1,833億円改善

注: 満期保有目的の債券の貸借対照表計上額と時価との差額は2,385億円(プラス)。
2011年12月末現在、単体ベース
出所: 農林中央金庫

自己資本の状況(単体:速報値)

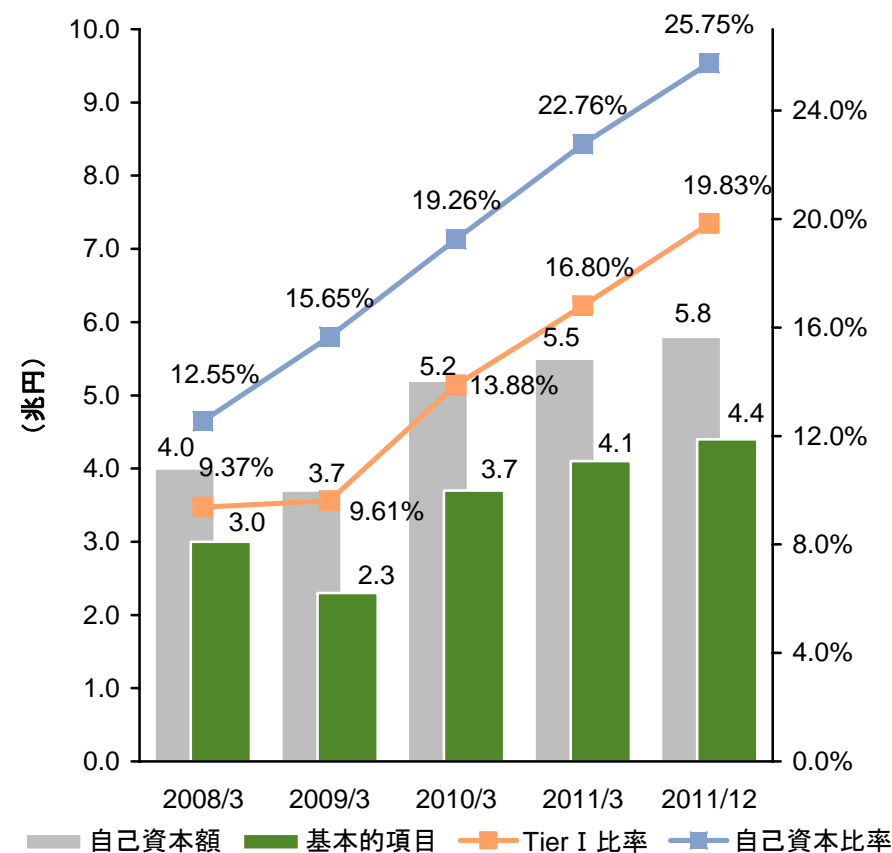
- 自己資本比率, Tier I 比率は各々25.75%, 19.83%と健全な水準を確保

自己資本の内訳(単位: 億円)

	2011年 3月末	2011年 12月末	増減
1 基本的項目(Tier I)	41,336	44,718	3,382
2 うち資本金および資本剰余金	34,509	34,509	-
3 うち利益剰余金	9,474	10,555	1,080
4 うちその他有価証券評価差額金	-2,216	-	2,216
5 補完的項目(Tier II)	17,596	15,545	-2,050
6 うち永久劣後債務	14,860	14,860	-
7 うち期限付劣後債務 および期限付優先出資	2,543	500	-2,043
8 控除項目	2,949	2,204	-745
9 自己資本額	55,982	58,060	2,077
10 リスク・アセット	245,938	225,440	-20,498
11 自己資本比率(国際統一基準)	22.76%	25.75%	2.99%
12 基本的項目(Tier I)比率	16.80%	19.83%	3.03%

注: 2011年12月末現在, 単体ベース
出所: 農林中央金庫

自己資本比率の推移



証券化商品への投資について(単体:速報値)

農林中央金庫

■ 証券化商品(注1)(注2)のポートフォリオは①高格付の、②一次証券化商品が中心

1 商品区分別エクスポージャー

(単位: 億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	3月末比	
							3月末比	3月末比
1 資産担保証券(ABS)	16,504	-	376	-	0	16,881	-2,883	
2 住宅ローン担保証券(RMBS)(注3)	9,679	241	242	68	348	10,580	5,876	
3 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	658	228	962	537	505	2,892	-632	
4 債務担保証券(CDO)	2,157	3,075	2,581	759	1,296	9,870	-3,159	
5 ローン債務担保(CLO)	2,150	2,826	1,991	538	809	8,316	-3,016	
6 証券化商品担保(注4)	-	150	559	191	458	1,360	-93	
7 債券担保(CBO)他	6	98	31	29	28	194	-49	
8 その他	-	-	-	442	546	988	-154	
9 合計	28,999	3,545	4,163	1,808	2,697	41,213	-952	

2 商品区分別評価差額・損益額

(単位: 億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	3月末比		損益額(注5)
							3月末比	3月末比	
10 資産担保証券(ABS)	-123	-	-11	-	0	-135	56	-	
11 住宅ローン担保証券(RMBS)(注3)	22	32	13	1	4	73	-44	-13	
12 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	-122	-10	-42	-46	-1	-223	95	-26	
13 債務担保証券(CDO)	-89	-144	-179	-22	21	-413	141	-29	
14 ローン債務担保(CLO)	-89	-133	-219	-51	3	-491	160	0	
15 証券化商品担保(注4)	-	0	23	9	18	51	-3	-22	
16 債券担保(CBO)他	0	-10	17	19	-	26	-16	-8	
17 その他	-	-	-	-	-	-	-	-	
18 合計	-313	-121	-220	-67	24	-699	249	-69	

3 通貨別エクスポージャー

(単位: 億円)

	エクスポージャー	3月末比	評価差額		損益額(注5)
			3月末比	3月末比	
1 米ドル	29,959	1,212	-422	88	-31
2 ユーロ	4,256	-2,219	-221	79	11
3 英ポンド	1,365	1,029	-8	3	-
4 円	5,631	-975	-46	76	-49
5 合計	41,213	-952	-699	249	-69

注1:証券化商品の定義は、バーゼルIIにおける証券化エクスポージャーを基本とした内部定義による。サブプライム関連商品を含む。

注2:証券化エクスポージャーは評価差額、損益額の反映後。一部のCMBSにおいてバーゼルIIにおける特定貸付債権に含まれるエクスポージャーが証券化エクスポージャーと別に412億円あり(評価差額▲10億円、損益額▲3億円)。

注3:サブプライムRMBSを含む。米国住宅金融公社関連のモーゲージ担保証券を含まない。

注4:ABS-CDO,CDO of CDO's等の2次、3次証券化商品。サブプライムRMBSを含むABS-CDO,CDO of CDO'sを含む。

注5:損益額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損益との合計。

注:2011年12月末現在、単体ベース

出所:農林中央金庫

サブプライム関連商品, その他商品への投資について(単体:速報値)

農林中央金庫

■ サブプライム関連商品へのエクスポージャーは696億円(評価差額129億円, 損益額▲13億円の反映後)

1. サブプライム関連商品への投資の状況(注1)(単位:億円)

(1) サブプライム住宅ローン担保証券(サブプライムRMBS:一次証券化商品)(注2)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損益額
1	AAA	72	-11	33	-8	-	
2	AA	77	-13	34	-10	-	
3	A	133	-44	21	-22	-	
4	BBB	-	-12	-	-5	-	
5	BB+以下	348	-85	4	-11	-13	
6	合計	632	-166	93	-57	-13	

(2) サブプライムRMBSを含むABS-CDO, CDO of CDO's(二次, 三次証券化商品)(注3)(注4)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損益額
7	AAA	-	-	-	-	-	
8	AA	-	-	-	-	-	
9	A	53	-9	26	5	-	
10	BBB	10	10	9	9	-	
11	BB+以下	0	-11	-	-10	-	
12	合計	64	-10	35	4	-	

(3) サブプライム関連商品計 ((1)~(2)の合計)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損益額
13	AAA	72	-11	33	-8	-	
14	AA	77	-13	34	-10	-	
15	A	187	-53	47	-17	-	
16	BBB	10	-1	9	4	-	
17	BB+以下	348	-97	4	-21	-13	
18	合計	696	-176	129	-53	-13	

注1: サブプライム関連の融資は行っていない。

注2: ビンテージ別比率は①2004年以前100%, ②2005-2006年0%, ③2007年以降0%。

注3: ビンテージ別比率は①2004年以前100%, ②2005-2006年0%, ③2007年以降0%。

注4: サブプライムRMBSを一部でも含むABS-CDO, CDO of CDO's, 但しサブプライムRMBSの含有率は僅少。

注5: モノラインによる保証付金融商品と別にモノラインのCDS等を含む証券化商品(CDO)を保有。

注6: 米国ABSで裏付資産の保証前格付けはいずれも投資適格相当以上を確保。また被保証商品にサブプライム関連商品はない。

注7: レバレッジドハイアウトを主な資金使途とする貸出で内部管理の定義による。貸倒引当金は92億円。

注8: この他に米国政府全額出資の米政府系機関である政府抵当金庫(ジニーメイ)保証付の住宅ローン担保証券の保有額は18,279億円。

注: 2011年12月末現在, 単体ベース

出所: 農林中央金庫

2. モノライン関連商品への投資の状況(注5)(単位:億円)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比	
1	モノラインによる保証付金融商品(注6)	248	-56	-61	20	
2	証券業務におけるモノライン利用	-	-	-	-	
3	合計	248	-56	-61	20	

3. レバレッジドローンへの投資の状況(注7)(単位:億円)

	エクスポージャー	3月末比	
4	国内レバレッジドローン	30	-240
5	海外レバレッジドローン	494	-285
6	合計	525	-525

4. トレーディング等の状況

当金庫はABCP, SIV, レバレッジドローンの組成, 引受, トレーディングを行っておらず, 関連する商品のトレーディング勘定での保有や連結非対象としているオフバランス取引は行っていない。ただし顧客企業の資産流動化を目的としたSPCを1件スポンサーしている(与信残高640億円)。

5. 米国住宅金融公社関連債券への投資の状況(注8)(単位:億円)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比	
7	エージェンシー・モーゲージ債	31,316	-4,784	1,097	562	
8	エージェンシー債	19,849	-542	-388	386	
9	合計	51,165	-5,326	709	948	

【参考】

・ファンド投資内のサブプライム関連商品の状況

当金庫が運用を委託しているファンドにおいて, サブプライム関連商品が含まれるものはない。(*)

(*) ファンド内個別資産が把握できるファンドにおける当金庫調査ベース

連結損益計算書・連結貸借対照表サマリー

農林中央金庫

■ 経常利益1,404億円, 純利益1,111億円

(単位: 億円)	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減額	増減率
1 経常収益(注1)	8,802	8,058	-743	-8.4%
2 うち資金運用収益	5,354	5,274	-80	-1.5%
3 経常費用	6,927	6,654	-273	-3.9%
4 うち資金調達費用	4,229	4,329	99	2.4%
5 うち事業管理費	809	898	88	10.9%
6 経常利益	1,874	1,404	-470	-25.1%
7 特別利益	361	29	-332	-91.9%
8 特別損失	76	7	-69	-90.6%
9 税金等調整前四半期純利益	2,159	1,426	-733	-34.0%
10 四半期純利益	1,886	1,111	-775	-41.1%

(単位: 億円)	2011年 3月末	2011年 12月末	増減額	増減率
(資産の部)				
1 貸出金	140,827	147,387	6,559	4.7%
2 有価証券	430,417	429,660	-757	-0.2%
3 金銭の信託	77,518	70,013	-7,504	-9.7%
4 現金預け金	18,376	41,453	23,077	125.6%
5 その他	31,198	24,985	-6,213	-19.9%
6 資産の部合計	698,338	713,499	15,161	2.2%
(負債の部)				
7 預金	409,493	429,536	20,043	4.9%
8 譲渡性預金	7,681	12,425	4,744	61.8%
9 農林債	54,163	51,736	-2,427	-4.5%
10 借入金	18,660	17,180	-1,480	-7.9%
11 受託金	43,972	61,046	17,073	38.8%
12 その他	121,769	96,328	-25,440	-20.9%
13 負債の部合計	655,740	668,253	12,513	1.9%
(純資産の部)				
14 資本金	34,259	34,259	-	-
15 資本剰余金	250	250	-	-
16 利益剰余金	9,723	10,631	908	9.3%
17 その他	-1,634	105	1,739	-
18 純資産の部合計	42,598	45,246	2,647	6.2%

注1: 2011年度より、「貸倒引当金戻入益」および「償却債権取立益」の計上区分を「特別利益」から「経常収益」に変更しております。

注: 2011年12月末現在。四半期連結財務諸表のレビュー手続を任意で実施しており、当第3四半期につきましても、終了しております。

出所: 農林中央金庫

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。